

# 事務事業評価シート

(平成 25 年度実施事業)

事務事業名	自然環境保全事業			事業コード	3159
所属コード	154000	課等名	産業振興課	係名	農政商工担当
課長名	大澤正一	担当者名	藤谷	内線番号	4400-242
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

## 1 事務事業の基本情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

### (1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	環境との共生	コード	6
	施策	かけがえのない自然との共生	コード	2
	基本事業	自然資源の活用	コード	1
予算費目名	4-1-4-2-1 自然環境等保全事業			
特記事項				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	年度	
根拠法令等				

### (2) 事務事業の概要

姫神山登山道及び一本杉園地施設の保全管理並びに岩手県が設置した東北自然歩道（啄木を訪ねるみち）の連絡調整事務を行なう。

### (3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

旧玉山村時代から行なわれてきた事業を盛岡市との合併後も継続して行なっているもの。

### (4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

姫神山登山者数は年によって変動はあるものの、今後も利用者が大幅に減ることはないと推測される。

## 2 事務事業の実施状況 (Do) . . . . .

### (1) 対象 (誰が, 何が対象か)

姫神山及び園地

### (2) 対象指標 (対象の大きさを示す指標)

指標項目	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	26年度 見込み
A 一本杉園地の面積	m <sup>2</sup>	39,291	39,291	39,291	39,291	39,291
B 姫神山登山道の数	コース	4	4	4	4	4
C						

### (3) 25年度に実施した主な活動・手順

一本杉園地施設の保全管理。

姫神山登山道 (4コース) の刈払い及び仮設トイレの設置

### (4) 活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)

指標項目	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	26年度 目標値
A 一本杉園地の刈払い	回	1	1	1	1	1
B 姫神山登山道の刈払い	回	1	1	1	1	1
C						

### (5) 意図 (対象をどのように変えるのか)

一本杉園地施設の保全管理及び姫神山登山道の刈払いを継続して行なうことにより, 自然環境の保全と魅力向上を図る。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	23年度実績	24年度実績	25年度計画	25年度実績	26年度目標値
A 姫神山登山者数	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	人	18,648	19,339	20,000	17,475	20,000
B	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						
C	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	23年度実績	24年度実績	25年度計画	25年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	5,000	5,000	5,000	5,000
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	1,025,970	1,017,024	1,063,000	1,011,606
	⑤その他( )	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	1,030,970	1,022,024	1,068,000	1,016,606
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	0	0	0	0
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	0	0	0	0
計	トータルコスト A+B	千円	1,030,970	1,022,024	1,068,000	1,016,606
備考						

3 事務事業の評価 (See) . . . . .

(1) 必要性評価（評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要）

① 施策体系との整合性

保全管理を継続して行なうことにより、自然環境の保全と魅力向上を期待できる。

② 市の関与の妥当性

地元と連携して実施することができる。

③ 対象の妥当性

姫神山の自然環境保全と魅力向上のための事業であり、妥当である。

④ 廃止・休止の影響

姫神山の自然環境の保全が図られず，魅力が低下することが懸念される。

(2) 有効性評価（成果の向上余地）

ボランティア等の協力余地がある。

(3) 公平性評価（評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要）

特定受益者はいない。

(4) 効率性評価

刈払いの実施時期や方法等を検討するなど，必要最小限の回数で十分な効果を得られるよう務めており，これ以上の実施回数の削減はできない。

**4 事務事業の改革案（Plan）** . . . . .

(1) 改革改善の方向性

保全管理の協力を得られるボランティアを継続して探しながら，当面の間は地元と協議しながら実情にあった保全管理を実施する。

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

保全管理を行なうことができるボランティアが見つからない可能性が大きい。

**5 課長意見** . . . . .

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

姫神山登山者の利用実態を把握しながら、環境保全に勘案した管理を行ない、魅力向上に努め、継続して事業を進めてまいりたい。